

ドクガの幼虫（ケムシ）にご注意ください

○ドクガの幼虫って？

- ・ 5月頃から草むらや庭に幼虫（ケムシ）が発生します。
- ・ 幼虫の体長は、1から4センチメートルで、体は黒く、背中と側面はオレンジ色です。
- ・ 幼虫は、毒針毛（どくしんもう）を持ち、皮膚に刺さるとかゆみと炎症を起こします。
- ・ 主にイタドリ、ハマナス、ノイチゴなどにつきます。



○被害を防ぐためにはどうすればいいのか？

- ・ イタドリ、ハマナス、ノイチゴなど、ドクガの幼虫がいる可能性がある植物には近づかないようにしましょう。
- ・ 空き地等の土地所有者又は管理者は、空き地等の草刈や殺虫剤の散布を行うなど、発生予防に心がけましょう。

○ドクガの幼虫が発生してしまったら？

- ・ 自分の身体に、毒針毛がつかない服装（雨カッパ等）で、薬剤（防虫菊などの乳剤）の散布や、市販の「ケムシ用」の殺虫剤を散布して駆除しましょう。
- ・ ご自分で駆除できないときは、専門家に駆除を依頼しましょう。

○もし刺されてしまったら？

- ・ 毒針毛が刺さると、数分から数時間でかゆみが生じ、赤くはれ上がります。時に、全身じんましんのような症状が続く場合があります。
- ・ かゆみが起きた場合は、抗ヒスタミン軟こうなどを塗り、炎症がひどい場合は医師の治療を受けましょう。